

新刊第43号 [通算128号]
発行日 2011年4月20日
六興電気株式会社 社内報

ろっこう



萎縮してはいけない！

代表執行役社長 長江 洋一

3月11日の午後、私は都内のホテルで講演会を聞いていました。激しい揺れが収まってすぐ会社に引き返すと、テレビの画面には、押し寄せる津波と瓦礫に埋まった被災地が映し出されていました。幸いにも六興の東北支店員は物的被害だけで済みましたが、協力業者やご家族には、今も避難所で生活する方々があります。被災地の再建には長い時間がかかるので、支援は息切れさせずに継続することが重要です。この方針のもと、わが社は再建支援に毎年1000万円の拠出を5年間続けることとしました。当日は30名ほどの社員とともに会社に泊まり、就職試験に来ていた学生さんの帰宅を確認してから、翌日の午後に帰宅しました。

働率を上げるかわりに昼間は停止するとか、元々夜型の出版業界が夜中に仕事できる環境を整えるのは、理にかなっています。しかしサマータイムはどうでしょうか？ たんにピークがずれるだけなので効果は無く、副作用だけが残るように思えてなりません。

人間は理性と感情で行動します。ある方が、自粛と節約は似て異なるものだ、と仰っていました。まったくその通りだと思います。マラソンを走りきらねばならない我々は、買い占めや自粛といった感情に流されることなく、理性に基づいた行動を心がけてゆくべきです。そのような理由から、私は「自粛」を社内で認めません。そして本当にやめるべき事柄があれば、明確に「禁止」とします。

感情ではなく理性に基づく行動

神戸の時もそうでしたが、大災害のさなかで略奪もなく秩序が保たれている日本を、外国のメディアは賞賛しています。しかし実際には、日本人の悪い癖が2つ顕在化しています。第一は買い占めです。インフラが被害を受けていない都内で、水やガソリンを大量に買い込むのは如何なものか。自分の分だけは何とかしたいという感情もわかりますが、自分だけよければという視野の狭さが見て取れます。このような時だからこそ、一人ひとりに理性的な行動が求められます。

慢心もあった

原発事故の経緯を見ていて、関係者に慢心や過信があったように見て取れるのにもなります。地震の強さは設計値を上回っていましたが、発電所は倒壊せずに停止しました。ただ、ディーゼル発電機が起動せず、外部からの電源も使えません。ここまでは想定外の範囲外かもしれません。しかしバッテリーが消耗して制御用の電源を失った原発のその後の推移は、国が原子力安全基盤機構に委託したレポートが昨年10月に発表されていました。その想定に基づき、バッテリーが生きている間に外部電源の回復に着手し、危機的状態になる前に手を打てたのではないかと想像します。残念なことに、実際には対応は後手にまわり、電源の回復作業が話題に上ったのは、事故が発生してから5日後の3月16日でした。早期に外部電源の接続を試みなかった理由は知るすべもありませんが、もしかしたら、事故のあと指揮を執ったリーダーは原発の運転について知識が浅く、現場がなんとかするだろう、という慢心・過信があったのではないのでしょうか。奇しくも前回の社内報には、慢心の話を書きました。私はもう一度、自分の書いた文章を読み返して、慢心がないか確認します。一方で一般の人たちは、現場で作業服を着て働く人たちを、とても頼もしく感じたように思います。「建設業は衰退産業だ」と言っておられた方々にも、ぜひ我々の重要性を理解していただきたいものです。

そしてもうひとつの、そしてもっと大きな問題は「自粛」です。被災者があんなに苦労しているのに、外食したりイベントを開催してもいいのか、という感情はわかります。そしてもしも復興が数カ月で終わるなら、それも良いかもしれません。でもよく考えてみてください。皆さんが家にこもり祈りを捧げ続けても、被災地の状況はまったく改善されません。そればかりか、経済活動が停滞して失業者が増え、実際の支援が継続できなくなってしまいます。これから復興に向けての戦いは、最低でも5年かかります。われわれは、これが100m競走ではなくマラソンだと理解しなければなりません。100m競走なら、位置についてからゴールまで、息をする必要がありません。でもマラソンは違います。息をして汗をかいて水分を補給して、それで初めてゴールにたどり着けます。つまり、5年間続けてゆける戦い方をしないと、途中で息切れして負けてしまいます。ですから我々は、できる限りの日常を維持して経済をまわし、復興のエネルギーを継続して生み出してゆかねばなりません。普通の人々が5年間持続できる、娯楽や息抜きがある、そういう日常があって、初めて復興支援を成し遂げられるのです。だからこそ、自粛してはいけないのです。

これからの日本とリーダー

おそらく大半の日本人は、東北の復興にかかわる負担増を受け入れてくれると思います。しかし経済に関しては、リスクを恐れる海外企業が、日本での製造を他国にシフトする可能性があります。社会構造も、従来のようになんでも国に頼るような余裕はなくなるでしょう。外交では、援助して下さった諸外国との間合いを考え直さねばなりません。必然的に、復興後の日本は今までとは違う形にならざるを得ません。従ってこれからの日本には、広い視野をベースに、構想力に富んだプランを示せるリーダーが不可欠です。この点私は、現在の国の体制はあまりにも視野と奥行きが狭く、構想力に欠けていると感じます。今後どんな日本になるかは我々が決めることですが、例えば「国難の克服を通じて、日本を経済大国から文化大国へ脱皮させる」というような大きな器をもったリーダーが出てきてほしいと願っています。現在行われている初期対応が一段落した時点で、なんらかの再編成があると思いますが、その時はみんなもこういった視点で考えてください。

「自粛」という行為には、もうひとつ問題があります。つまり、【いつまで続けるか】、【誰の責任で解除するか】、という手続きが不明確なため、しばらく経つとなし崩し的に元に戻り、当初の決意は風化してしまうのです。よく日本人は熱しやすく冷めやすいと言われますが、「自粛」というのは、そんな日本人に都合の良い逃げ道なのです。いくつかの学校で、卒業式が「自粛」されたのは残念でした。都心のホテルでは、結婚式も半分以上キャンセルだったとか。電設工業協会も、半年先に予定していた海外視察を早々と「自粛」しました。もちろん、現下で逼迫している電力事情への対応は必要ですから、たとえば東京電力と東北電力管内でのナイターは、電力事情が改善されるまで禁止(注:自粛ではありません!)すべきだと思います。しかし電力供給に余裕のある他の地域まで「自粛」しても何の効果もなく、一時の感情に流されているにすぎません。省電力についても、達成しなければならないのはピークカットです。ですから、工場の夜間稼

2011年4月号 目次：

ようこそ、六興電気へ！	2
目指せ！優秀なエンジニア	3
復興へ向けて歩き出しています ～東日本大震災～	3
各地の竣工物件	4
部署紹介 —中国支店—	5
ろっこうニュース	6～7
・六興電気 リノの空へ	
・従業員持株会が発足	
・会社案内デザイン新しくなります	
・1級電気施工管理技士 試験結果	
・夏物作業服 改良します	
・QC資格取得で差別化を図る	
・36シリーズをありがとう	
活躍する六興OB	8
長江 健さん	
リレートーク	
北海道支店 横山さん	8
訃報	8

長江洋一

ようこそ、六興電気へ！

3月26日より6日間の新入社員研修を三浦海岸で行い、当社の未来を担う、総勢21名が参加しました。例年ですと研修所は桜が見ごろを迎えますが、今年は真冬のような寒さの日もあり、蕾はがっちり身をかがめていました。しかし、ここ数年悩まされていた雨もなく快晴で、また心配していた計画停電も一度も実施されることなく、研修をほぼ予定どおり終えることができました。彼らが強いパワーで跳ね退けたんだと思います。

研修初日は緊張からか、少し声が小さく心配になりましたが、すぐに慣れ、明るい挨拶を返してくれるようになりました。

特に印象的だったのは皆が互いのことを思いやり、チームワークが強かったことです。写真撮影ではポーズを皆が出し合い、オリジナルの写真ができました。チームワークを重んじる気持ちは今後の六興人生で大きな力になると思います。

新入社員の皆さん、これからは六興電気の一員として力を合わせて頑張っていきましょう！活躍されることを楽しみにしております。
(人事管理室 大熊 淳志)



六興電気のマーク

配属先一覧

人事管理室	係	菅野 李香
経理部	経理係	山本 和樹
東京本店	工事係	板橋 達弥・小林 諭 小野田 泰士・斗沢 謹仁 服部 篤・大岩 惇 高畑 慶・長谷川 祐太
東北支店	工事係	小山 潤
茨城支店	工事係	菅原 大樹
北関東支店	工事係	稲葉 勇貴
名古屋支店	工事係	関川 直樹・渡邊 浩昭
神戸支店	工事係	藤井 圭太
エネルギープラント部	管理係	宮崎 貴誠行
中国支店	工事係	小野 圭輔
九州支店	工事係	横井 圭祐
電気工事士		牧野 高弘



新入社員にできることを

楽しかった4年間の大学生活を終え、いよいよ今年から社会人として新しい生活が始まることとなります。昨今の日本は、デフレ・円高が進み、更に3月11日に起きた東北沖大地震により未だかつてない危機に直面している中、六興電気の新入社員として自分の成すべきことは、私達の若い力で会社全体を、そして日本全体を大きく盛り上げて行くことだと考えています。それには、何事にも全力で取り組み、自分ができることを見逃さないように集中することだと思います。しかし一人一人にできる事はそう多くなく、なればこそ先輩方や他の企業の方との絆を太く大切に、日本を復興し世界中から認められるような日本を私は見たいと思います。

私はまだ社会に出たばかりで、まだまだやるべきことはたくさんありますが、一つ一つを精一杯こなし努力し向上心を持って勤めて行きたいです。そのためにもご助言ご指導のほどよろしくお願い致します。
(中国支店 小野 圭輔)



精一杯頑張ります

超氷河期の就職状況がニュースで流れているこの年に、六興電気の社員として社会人の一歩を踏み出したことに、喜びと感謝の気持ちで胸がいっぱいです。社会的な責任もなく学生生活を過ごしていた私が、一挙手一投足に責任が生じる社会人になることには多少なりとも不安はありますが、今は不安よりも新しい世界がどのようなのか早く見てみたい気持ちの方が若干強い気がします。しかし、世間的には社会人でもまだまだスーツを着た学生であるのも事実であります。だからといって甘える気はありません。今は右も左も分からない状態でお役に立つことがないかも知れませんが、例え微力であっても必ずや役に立てるよう、また安心して仕事を任せていただけるよう、上司の方、先輩方の皆様の叱咤を糧に一生懸命頑張りますので、どうかよろしくお願い致します。
(経理部 山本 和樹)



恐れずに行動する

就職超氷河期と言われた2011年。この年に無事に卒業・就職できたことに今まで支えてくれた方たちへの感謝の気持ちと、これからの私たちに期待して下さる方たちの思いに応えたいという気持ちでいっぱいです。とはいっても、これから始まる社会人としての新しいスタートに不安を感じています。学生生活とは違い、自分の言葉や行動、考えに大きな責任がついてくると思います。最初はこの責任をプレッシャーに感じるかもしれませんが、少しでも早く責任感を楽しめるような社会人になりたいと思っています。そのためにも、常に変化していく世の中や自分に求められていることに敏感に反応し、柔軟性を持って恐れずに行動することが必要だと考えています。

始めはわからないことばかりだと思いますが、色んなことを先輩方から学び、1日でも早く六興電気の戦力になれるよう努力しますのでご指導のほどよろしくお願い致します。
(名古屋支店 渡邊 浩昭)



笑顔忘れずに

まず始めに、東北地方を襲った地震と津波により、日本各地に多くの被害が出ており、被災地のSOSに直に応えることができずに新しい春を迎えることになりました。メディアを通して他人事ではない天災を目の当たりにしながらも、無事に新生活を迎えられること、命があることに感謝しなければならぬと思います。この春から六興電気の社員として働くにあたり、はじめはわからないことの方が多いはずですが、上司の方や先輩方には多大な迷惑をかけてしまうと思います。しかし「新入社員だからしょうがない」という心構えでは甘えしか生まれません。上司の方や先輩方の教えを忠実に守り、そして言葉以外の技術や行動も見逃さず、時間をかけてでも必要なものを積み重ねて、自分の糧にできるようにしたいです。上司の方々始め、先輩方、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。
(東京本店 斗沢 謹仁)



入社式後、本社正面玄関にて



目指せ! 優秀なエンジニア

ここでは、新入社員や六興電気に興味を持っている学生の皆さんへ向けて、六興電気の教育方針についてご紹介します。各部署によって特色が異なるので、今回は大阪・東京・九州の部署長に、それぞれの考えや方針を語ってもらいました。

大阪支店長 長江 純

「明るく正直で何事にも挫けない強い心を持った社員になるためにそれぞれが努力を続ける事、部署はそれをサポートする。」これが大阪の教育の基本方針です。他人がどうあれ、社会がどんなであろうと、まず自分自身が目標を持って努力を続ける自律型人間にならなければ何事も始まりません。

新入社員は恒例の「花見」で協力業者の職人や資材納入業者に挨拶をし、それから2週間ほど支店でごく基本的な決まりごと等を学習し、即現場へ配属されます。現場では建築の所長や担当者、他業種の人たち、そして当社の現場代人から実際の仕事を通して指導、教育を受けます。さまざまな場所での人との関わりが人間を成長させます。最初は分からない事、不安な事が多いと思いますが、しだいに「力を合わせてひとつの目的を達成する」とこの楽しさ、厳しさが理解され、「自分がこの場所で本当に役に立つ人材になろう」と思うようになります。現場での体験はその後の勉強にも必ず役に立ちます。初心を忘れず、講習や勉強会で知識を身につけ資格を取り、当社を代表する優秀なエンジニアになって下さい。

東京本店長 佐々木 俊二

東京本店の教育方針についてですが、現場に行って先輩や職人さんの仕事をよく見て、しっかり技能を学んでください(悪い言葉でいうと、盗みとってください)。そして、下記のことを実践し、少しでも早く一人前の現場代理人(社長の代理、現場の経営者)になってほしいと思います。

まずは、「挨拶」と「報告・連絡・相談」を徹底し、いろいろな人たちといろいろな形でコミュニケーションをとってください。そして、先輩たちのやっていることを見て仕事の流れや作業内容を学んでください。ただ先輩から学んだことを真似するのではだめです。どうしてこれが必要なのか、なぜそれがダメなのか等、常に疑問を持ちながら仕事を進めるようにしてください。イ

ンプットしたものをうまくアウトプットできるよう考えて、創造力を養ってほしいのです。最初は難しいかもしれませんが、日頃から疑問を持つようにすることが大切です。次に、仕事に対してのイメージを持つことを心がけてください。はじめは明日のことだけでもいいです。慣れてきたら、だんだん期間を延ばしていくことです。自分の仕事の最終形を思い描くことで、「どの時期に何をやらなければいけないのか」とか「この時期にこうすれば、期限よりも早く納めることができる」とか、段取りする力や計画性が身に付くと思います。また、現場代理人はチェック・確認も大事なことです。施工図通りに職人さんがきちんと施工してくれているか、提出書類に間違いはないか。これも大切な仕事です。

最後に、現場内だけでなく建設業を取り巻く環境の変化など、周囲の状況を素早く察知して臨機応変に対応できるようになってください。そして、連携・協力し合い、皆で困難なことも乗り越えていこうという強い気持ちで、一緒に頑張っていきましょう。

九州支店長 芹川 健彦

九州支店では、まず、電気工事について内容を理解してもらうために、支店内で積算という業務から始めてもらいます。これは、工事を施工していく上で必要な資材の量・工事金額を算出していく作業であり、これを行うことによってどういう種類の工事があり、その材料はどのようなものがあるのかが分かります。しかしながら、それはあくまで机上であり、すべて理解できるはずもありません。ですから是非、「現場に行きたい。実際に目で見たい」という気持ちになってください。その積極性こそが大事になってきます。

次に、いよいよ現場に常駐し、電気工事という現場の最前線に入っていきます。そこには色々な業種、色々な立場での人間社会があります。その中で、「自分は入社したてだから」「教えてもらっていないから何もできない」ではなく、積極的に色々な人間と話をしてください。わからないことも曖昧にせず、人に聞くのもその一つです。そういったコミュニケーションの積み重ねが、現場内でその存在を認められることにつながり、だんだんと戦力となっていきます。

また、疑問に思ったことや未経験なことなどは徹底的に理屈・理論に基づいて、その内容を理解してください。それが応用力につながり、次の手を打つための経験となります。その経験が本当の意味での戦力となっていきます。是非、頑張ってください。

復興へ向けて歩き出しています ～東日本大震災～



東北支店@3.11

3月11日に発生した大震災では、東北支店もかつてない被害を受けました。支店のあるビルの6階は震度6弱の揺れが約3分間続き、当時支店内に4名の社員がおりましたが、立ってはいられず、机に掴まって身を守るのが精一杯の状況でした。地震後、机や書庫の書類はあちこちに散乱し、パソコンやモニターなども机から落下した状況でした。

震災後は各現場に、携帯電話で連絡を取るも不通。災害時優先電話も不通と被害状況の把握に苦労していた午後4時、三沢より工事の社員は無事との連絡が入りました。この時点でようやく支店社員全員の無事が確認できました。この間、「残っているのは六興さんだけです」と3度もビルより避難するよう指示されており、無事が確認できたので、ヘルメット姿にマスク、手袋に懐中電灯とペットボトルの水を持って非常階段より屋外に避難したのが午後5時前。それまでに携帯電話で本社のどの部門へ連絡してもつながらず、最後に公衆電話から技術本部につながり、午後5時20分に社員無事の報告ができました。社員の中には津波で自宅が浸水した者などもおりますが、家族を含め皆無事であったことは不幸中の幸いでした。一方、海岸より20m程の高台にある引き渡し直前の特別養護老人ホームが床上浸水の被害に遭い、非常に残念でなりません。

連帯感・団結力が更に強く

本格的な事務所の復旧作業は週明けから余震が続く中での作業でしたが、通常業務ができるまで復旧できたことも全員一丸となって作業した結果です。また、豚汁を作り屋には社員や職人さんに振る舞うこともでき、連帯感も更に強くなったと思います。幸い、支店では地震が発生し一部の社員が帰宅できない場合を想定し、最低限の食料、水、カセットコンロ、ボンベ、やかん、鍋、懐中電灯、マスク、手袋等を備蓄してあったので、こういった準備が役に立ち、いざという時に力を発揮するということを改めて感じました。ぜひ皆さんも、災害時にどう行動すべきか、どんな備蓄が必要かなど、この機会に考えてみていただければと思います。

震災後、各支店を代表して新潟支店より多くの救援物資をトラックで届けていただき、また、多くの方から励ましのお言葉をいただきました。皆様の温かい心情に大変感謝申し上げます。これからも困難に負けず、東北支店一致団結して、前に進んでいきたいと思っております。

(東北支店長 佐藤 敬一)

支援し続けていきます

3月11日、私は出張でガムを訪れていました。ちょうど帰国日で出国を終え空港で出発を待っていました。何気なく見ていたCNNで突如Breaking Newsとして日本で大地震があり千葉のコンビナートが炎上中との情報が流れました。すぐさま本社に電話したところ、幸いにして地震直後はまだ電話がつながり、本社は無事だが東北支店とは連絡がつかないとの報告を受けました。震災発生から会社として対応してきたことを記します。

安全確認・・・緊急度が高かったのは、当社社員および協力会社の社員の安全状況の把握と現場の状況確認です。社員の安全確認は比較的早期に取れました。14日(月)の緊急会議で全現場の被害状況を把握するよう指示が出され、その翌日にはほぼ確認が取れました。ただし不幸なことに、当社の協力会社そのものが津波被害に遭っていることが判明し、現在もさらに調査を続けています。

支援物資・・・新潟支店は阪神大震災の時も支援活動をしてきましたが、今回も支援物資を届けてくれました。14日に新潟市内のスーパーを駆け回ってくれ、短時間でカップラーメン・お水・ウェットティッシュ・乾電池など多数調達して、翌15日に山形経由で東北支店に支援物資が届きました。新潟支店は自らが震災を経験しているためか、どの物資が必要なのか把握しているのはさすがです。

義捐金・・・メールにて全社員に「当社社員および協力会社の社員」への義捐金をお願いしました。3月31日現在で総額222万円の皆様の気持ちが集まりました。有り難うございました。また、会社からも被災地域に対して義捐金を拠出する予定です。しかしながら現在の義捐金窓口は玉石混濁で、集まったお金も広範囲に支払われてしまいますので、本当に困っている人に届くかどうか分かりません。ですから当社は自治体もしくは福祉法人に対して、直接の支援を一度にお支払いするのではなく、何年かにわたって支援を続けたいと考えています。

(管理本部長 坂本 孝行)



各地の竣工物件

北陸自動車道 親不知～柿崎間道路照明設備更新工事



契約先 東日本高速道路株新潟支社
 設計監理 (株)ネクスコ・エンジニアリング新潟
 潟
 工期 2010年1月～2011年1月
 施工場所 新潟県上越市、糸魚川市
 妙高市
 建築概要 IC・PAトンネル
 施工部署 新潟支店
 協力業者 田辺工業(株)、(株)宮下電設

北陸自動車道は、新潟市の新潟中央JCTから滋賀県米原市の米原JCTへ至る高速道路です。今回の工事は、新潟県上越地方の親不知ICから柿崎ICまで約75kmの間にあるインターチェンジ、パーキングエリア、トンネルにて設備老朽化に伴う更新工事を施工しました。

工事内容としては、①上越IC・柿崎IC・大潟PA・蓮台寺PAの道路照明更新工事 ②上越ICから糸魚川ICまでの14トンネルにてトンネル照明の安定器取替工事 ③トンネル坑口灯の新設工事 ④トンネル分電盤の更新工事 ⑤トンネル坑外灯の更新工事 ⑥ロードヒーティング盤の更新工事 ⑦新井スマートICの道路照明の新設と新事務所の電源引込工事 ⑧上越ICの風向風速計の移設工事です。

作業は、インターチェンジ班とトンネル班の2班に分かれて行いました。インターチェンジ班は、炎天下での作業となり熱中症に注意して作業しなければなりません。また、ケーブルの敷設や照明基礎の試掘は、全て手掘りで作業しなければならず大変苦労しました。

トンネル班は走行・追越のどちらかを車線規制をしての作業が基本ですが、分電盤の電源



切替工事では一般車の利便性を考慮して、夜間に車線規制しないで施工しました。工事内容が多数あり、施工場所も広範囲で、しかも車線規制をしていたので安全に気を配りながら作業しなければなりません。協力業者の皆さまのおかげで大きな事故もなく、雪が降る前に工事を終わらせることができました。ありがとうございました。

(新潟支店 前田 伸樹)

METRO市川店



契約先 前田建設工業(株)
 設計監理 前田建設工業(株)
 工期 2010年8月～2010年12月
 施工場所 千葉県市川市田尻町
 建築概要 延床面積 7,980.62㎡
 S造 地上2階
 施工部署 千葉支店
 協力業者 (有)花田電設
 (有)塚田電気工業所

今回、千葉支店にて施工したMETRO市川店は、千葉支店施工としては2件目となります。一般の人は買い物はできず、ホテル・レストランなどの飲食業・食品小売業・給食業などの、事業者を対象とした登録制販売店舗で、プロのための店といった感じです。

店内は、フロア全体が冷蔵庫のように寒く、店舗入口には、御客様用の防寒着が置いてあるほどです。商品を、国内外から幅広く取り揃えて販売しており、オープン待機の時には思わず買い物をしたくなるほどの品揃えでした。

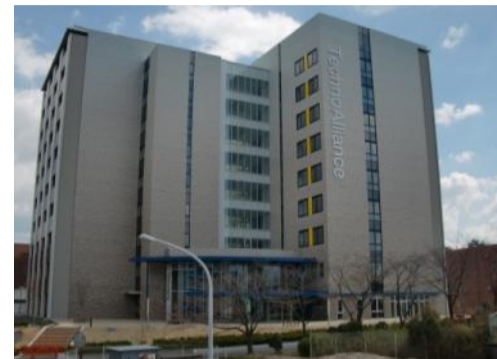


工事中は、工期が実質稼働で4ヶ月程度しかなく工業地域という立地条件から近隣からの苦情も少ないだろうと朝6時半朝礼・作業7時～…という現場で、施主も驚くほどのスピードで現場が進んでいきました。忙しい現場でしたが、協力業者の皆さまの多大なるご協力のおかげで、無事に竣工する事ができました。

(千葉支店 小山 雅史)

大阪大学(吹田)テクノアライアンス棟

契約先 国立大学法人 大阪大学
 設計監理 大阪大学 施設部
 工期 2010年5月～2011年3月
 施工場所 大阪府吹田市
 大阪大学キャンパス内
 建築概要 延床面積 12,329.82㎡
 S造 地上11階
 施工部署 大阪支店
 協力業者 藤井電気工事(株)



当現場の用途は大学で、研究室26室、実験室20室を有し大阪大学の“Industry on Campus”を実現する新しい産学連携の実践の場として利用されることを期待し、研究者の交流スペースを備えたラボ施設です。

現場運営で一番心がけたのが即判断、即対応による工程管理でした。現場の問題を何日も置いておけないからです。というのも建築は、工期の1ヶ月短縮を技術提案として出していたので、現場は日曜祝日関係無しに作業をし、内装工事については毎日夜中2時、3時までやっていました。それでも工期ぎりぎりです。そのような環境で我々電気工事の工期は実質半年不足です。S造のために耐火被覆完了後の配線、ラック等の本格施工のスタートとなるからです。単純計算で月1億円の出来高をあげていくことになります。また作業区域が現場敷地外にも及び、共同溝内作業や750mほど離れた変電所から高圧ケーブル250sq2回線を延線し受電となる流れです。この管路の埋設配管工事がラック工事へとなり大幅変更が発生しました。しかし、これこそが利益確保のチャンスと捉え、協力業者他多くの方々と打合せを重ね試行錯誤しながら、何とか無事故で竣工を向かえることができました。

これも品質管理室のバックアップと協力業者の皆様の多大なる努力、夜中までがんばってくれた職員メンバーのおかげです。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

(大阪支店 得平 衡)

プランズシティー港南台うぐいすの杜

契約先 三井住友建設(株)
 設計監理 三井住友建設(株)
 工期 2009年8月～2011年2月
 施工場所 神奈川県横浜市港南区
 建築概要 延床面積 31,866㎡
 RC造 地上14階(4棟 265戸)
 施工部署 横浜支店
 協力業者 (株)テクノ電工、(有)前田電設、(有)彰電工



当物件はJR港南台駅から徒歩2分の場所にあり、駅前ビルに高島屋、バース、ダイエーの商業施設が隣接しています。もともと5階建4棟・4階建1棟の5棟96戸の公団の分譲団地が建っていて、12年前くらいから建替の計画があり、現在に至る経緯があります。

今回の現場は、協力業者が3社5班と分かれていましたので、施工統一に重点をおきました。施工統一を図るために施工図に写真を入れて、それを施工要領書としてA1で打出して詰め所に貼り出し、誰が見ても分かり易い施工要領書を作成することにより、施工統一することができました。また、工夫した点は、ユニットケーブルの先行揚重、スラブ筋施工前の先行スラブ配管工事、共用廊下の照明先付、建築の生コンの残材で外灯基礎の先作りなど行いました。建築工程が厳しい中での工事だったため、これらの工夫が時間短縮、電気さんの苦労の軽減に役立ち、スムーズに現場を進める手助けとなりました。改善点もあるので、今後の現場でプラスに活かして行きたいと思います。私が一番心に残っているのは、幹線の駐車場横断計画です。建物がコの字の形をしており、一番端に電気室があります。そこから各棟に電気を送るのですが、設計図では建物のコの字通りに幹線を廻していたのですが、駐車場を横断することにより、ショートカットとなることができ、幹線サイズ・こう長のダウンを図ることができました。

三井住友建設の皆様、社員、協力業者の皆様のおかげで、無事に竣工することができ、すばらしい建物が出来上がりました。本当にありがとうございました。

(横浜支店 久保田 修)



建替前の風景

部署紹介

中国支店



中国支店集合写真(小田原本部長、飛び入り!)

中国支店は、古くから山陽道や瀬戸内海を利用した交通の要衝として栄えた広島市に、昭和48年1月に営業所を開設致しました。当時3人で広島市東千田町に事務所を置き、神戸支店の傘下として活動してきました。その後、平成5年10月に支店に昇格し、平成6年5月に広島市の中心地である中区中町に現在の事務所を構え、平成22年2月には四国支店と統合しました。現在は中国地方5県と四国地方4県を管轄しています。中国支店の構成としては、支店の他に岡山営業所(岡山県)と高松営業所(香川県)の2つの営業所を設けて、この広い地域をカバーしております。

当支店の人員は31名(工事20名・営業4人・技術5人・事務2人)で、若手社員中心の活気ある支店です。主な施工物件としては県立美術館、陸上競技場、大学病院、県警本部庁舎、コンベンションセンターや大型商業施設、光ケーブル敷設、道路照明やトンネル照明、地デジ対応、岩国米軍関係工事など、様々な特色のある施工を行なっています。現在も労災病院、岩国米軍工事、マンション等幅広く行っています。

今期は「ゴールに向かって一丸体制、筋肉質の組織力で目標達成」をスローガンに営業・工事・管理室が三位一体となり、年度計画の目標達成に向け支店の運営に邁進します。

(支店長 有藤 孝一)

米軍岩国飛行場関連工事

岩国飛行場(MCAS IWAKUNI/JMSDF Iwakuni Air Base)は、山口県岩国市に所在するアメリカ海兵隊と海上自衛隊が使用する飛行場・基地で、岩国基地と呼ばれることが多いです。岩国基地の工事は、平成19年にボーリング場新築工事を行ったことから始まり、現在では米軍から発注された住宅・食堂の改修工事や中国四国防衛局から発注された訓練施設新設工事や整備格納庫新設工事を行っています。

米軍発注の工事は図面及び仕様書等が全て英語です。当初、先に米軍工事に取り組み、多くの施工実績がある沖縄営業所へ積算や施工について勉強に行くなど、手探りで始めました。ところが、現場担当者が非常に前向きで、意欲的に取り組み実力を付けて帰ってきました。また、工事管理がスムーズに行えるよう英会話のレッスンも行っています。支店会議の際には、岩国のスタッフは今年から導入されたテレビ会議を使用して参加しているのですが、いつからか岩国からの現場報告が英語交じりになっていってうけました(笑)

現場内では日本と違う安全・品質等のルールと交通ルールがあり、日本でありながら基地内は完全なアメリカで非常に厳しいそうです。今後も岩国基地の工事を継続して行けるよう、協力業者の皆さんと協力して安全に仕事を行っていきます。(管理室長 西川 雅司)



岩国メンバー 左から 空山さん・青木さん・神本さん・赤井さん



～中国支店って、こんなところ～



ボランティアで花壇の苗を植えかえました。



英会話レッスン中。英語が板に付いてきました!

工事実績 代表例

工事件名	契約先	場所	工期
ミサワテクノ備前工場新築	環境建設	岡山県	2001.1-2001.9
高松圏域健康生きがい中核施設	香川県	香川県	2001.9-2003.3
岡山県陸上競技場改修通信設備	岡山県	岡山県	2001.3-2003.5
山陽自動車道竜ヶ岳トンネル照明設備取替	西日本高速道路	山口県	2006.7-2007.2
岡山駅前ビルリニューアル	㈱成和	岡山県	2007.3-2007.9
ロックタウン周南新築	大和ハウス工業㈱	山口県	2008.1-2008.5
平成17~20年度継続土佐市民病院新築	土佐市民病院	高知県	2005.10-2008.10
平成20年度新松尾トンネル照明	四国地方整備局	愛媛県	2008.10-2009.3
徳島大学(医・歯病)西病棟新築	徳島大学	徳島県	2007.6-2009.10
岡山博愛会病院新築	㈱銭高組	岡山県	2009.3-2010.3
高速2号線・3号線1期道路照明設備	広島高速道路公社	広島県	2009.6-2010.3
岩国住宅改修1191号棟	西松建設㈱	山口県	2010.7-2011.5
海老園集合住宅新築	三井住友建設㈱	広島県	2010.5-2011.8
平成21-23年度高知法務総合	四国地方整備局	高知県	2010.2-2011.9
岩国住宅改修1200号棟	西松建設㈱	山口県	2010.7-2011.11
岩国飛行場(21)訓練施設(948)新設	中国四国防衛局	山口県	2009.12-2012.3
岩国飛行場(H22)整備格納庫新設	中国四国防衛局	山口県	2010.12-2012.3
岩国飛行場門前住宅第2期改修	㈱NIPPO	山口県	2009.10-2012.4
衛生研究所耐震改修	広島市	広島県	2010.10-2012.6
岡山労災病院新棟	労働者健康福祉機構	岡山県	2010.11-2014.3

隠れた名品紹介 ~ 広島名物はやっぱりこれじゃろう! ~

全国各地に名物・名産があるように広島にもいくつか名物はありますが、今回は定番中の定番、お好み焼きともみじ饅頭について語らせていただきます。

まずはお好み焼き。支店の近くや私の実家の近所にもいくつか点在する程、広島にはたくさんのお好み焼き屋さんがあります。鉄板の上でたっぷりのキャベツをギュッと凝縮させて豪快に焼き上げ、ほんのり甘いオタフクお好みソースをかけたボリューム満点のお好み焼きは、頻りに食べても飽きません。食欲があまりない時でも、目の前の鉄板の上でジュージュー焼けていくお好み焼きを見ると、私のお腹はグーグーなり始めます。お店を出た時にはソースの香りが染みついて私自身が香ばしくなっている、そんなお好み焼きが大好きです。

そして忘れてはいけないのがもみじ饅頭。最初はこしあんしかなかったシンプルなお饅頭が、今では数えきれない程の種類になっています。抹茶にチョコにチーズ他、外側がもちりとした食感の生もみじ、衣をつけて揚げた揚げもみじ等々。最近ではケーキ屋さんが外側をマドレーヌにしたもみじ饅頭まで作られています。見るたびに種類を増やすもみじ饅頭に「こんな種類の物までできてしまったか」と感心しています。いろんなアイデアで見事に世の中に進出し、そして根付いてゆく、そんなもみじ饅頭が大好きです。

(伊藤 玲子)



ろっこうニュース

六興電気 リノの空へ



このたび六興電気は、日本人エアレーサーであるトニー比嘉さんのスポンサーとなりました。

比嘉さんは愛機TangoTangoを駆ってエアレースに挑戦し続け、複葉機の最高峰であるゴールドに名を連ねています。その姿には、六興電気と同じ自主独立とチャレンジが感じられます。



今までもたびたび取り上げていますが、来年のカレンダーには六興電気のロゴが入ったTangoTangoを紹介いたします。比嘉さんの活躍は、下記のサイトでご覧ください。

トニー比嘉公式HP
<http://tonyhiga.com/>

従業員持株会が発足

2月より、従業員持株会が発足しました。株の購入等に際して10%の奨励金がつき、資産形成に大いに役立てていただけますので、皆さんもぜひ入会なさってください。

私は9年前に、募集があった時に応募して当選し、2株の株主になりました。最近また買いたいと思いましたが、以来、なかなか募集もありませんでした。

私は持株会の会員になりました。持株会には優先的に募

集がありますので、次の募集を楽しみにしています。持株会ができるまでは募集があっても抽選で、株が買えるかどうかは運次第でしたが、持株会ができたことで、株の募集があれば確実に持分を得ることができます。持分が増え、配当が増えることが楽しみです。

入会の問合せ先は人事管理室です。募集内容をご確認いただき、一緒に株主になりましょう! (経理部 佐藤 仁美)

会社案内 新しくなります

現在の会社案内を使い始めて早くも4年が経過しました。長い間お世話になった会社案内にも別れを告げ、新しい会社案内を皆様にお届けしようと現在奮闘中です。ゴールデンウィーク明けには皆様にお届けできるかと思えます。

今回の会社案内では、これまでは掲載してこなかった六興電気の歴史の部分にも触れたり、技術本部の開発製品、エンジニアリング事業部の紹介等も行っています。私も会社案内の制作に携わるまでは知らなかったことがたくさんありました。なぜ六興電気がマンション工事でNo.1の地位を築くことができたのか。そして今後何を目指し、どのように発展していくのか。六興電気のいろいろな顔が見られると思いますので、皆さん楽しみに待っていて下さい!

また、制作に協力して下さっているのはデザイナーの金代ナオ氏です。金代氏は現在の名刺もデザインして下さいました。他にも六興電気を使う様々なものをデザインして下さい、その発想力にはいつも驚かされます。



「変わり続けるDNA」という六興電気のコンセプトに合うように、会社案内もどんどん新しい変化を取り入れて作り変えていきたいと思っています。

(経理部 櫻井 香織)

平成22年新技術開発アイデア表彰

平成22年新技術アイデア募集には、87件の提案が寄せられました。提案されたアイデアについて新規性、特許等への発展性、業務の合理化への貢献などの観点から技術開発委員会において審査を行いました。審査の進展と並行して、技術本部では受賞可能性のあるアイデアについて試作品を製作し、製品化の可能性について検証を行いました。技術開発委員会はその検証結果報告を参考にして、受賞アイデアを決定しました。奨励賞に輝いた「スポット君の提案」は床スリーブの施工方法に関するもので、今後各支店における水平展開を期待します。提案アイデアは毎年内容がレベルアップしてきています。今年も実施しますのでよろしくお願いいたします。

(技術本部)

<奨励賞>

- ・スポット君の提案 北関東支店:長澤 佳宏、竹田 修一
小尾周一郎、高木 直樹
金澤電機(株):金澤 孝

<アイデア賞>

- ・有機ELを使った現場写真用電子黒板
中国支店:高橋 直和
- ・スケールの提案 設計部:緑川 純子
- ・縦ラック用特製鋼製スリーブ
名古屋支店:宮下 隆
- ・36ベース 千葉支店:中野 裕貴、佐藤 浩
小芝 重和、清水 光茂
- ・36バインド改(2009年アイデア募集提案)
北海道支店:荒谷 学
- ・棒端子コネクタ 千葉支店 中野 裕貴、佐藤 浩
小芝 重和、清水 光茂

奨励賞受賞者メンバーからのコメント

今回、この施工方法を実際に試した理由として、PCスリーブの精度が悪く、紙ボイドに切込みを入れないと入らないという問題がありました。そこでどのようにすれば上手くいくのかと考えていました。そんな時に、現場に常駐していた職人さんのアイデアで「スポットくん」が誕生しました。

「スポットくん」を試した結果、ボイドに切込みを入れずに施工することができ、また、紙ボイドの長さも短く削減することができました。塩ビ管を使用することにより再利用もできるので、とてもエコで経済的です。コンクリ打設後のボイド撤去も効率よく、施工時間短縮にもつながります。

是非PC工法の現場で使用してみたいです。今後様々な現場に携わると思っています。これからもより良い施工方法を考えていきたいと思っています。



スポットくん

(北関東支店 小尾 周一郎)

1級電気施工管理技士 試験結果

2月4日、平成22年度1級電気工事施工管理技術検定試験の合格者が発表され、当社では14名の方が合格されました。学科+実地試験では全国の合格率が27.23%のところ、当社は31.82%と平均を上回る結果を収めました。残念ながら入社4年目の合格者はおりませんでした。初受検合格者が9名となりました。今年度も約60名の方が受験予定ですが、合格率100%を目指してがんばりましょう!

以下、合格者のコメントをご紹介します。(技術本部)

東京本店 宮内 昶昌さん



会社に入社して6年目で、一級電気施工管理技士に合格しました。発表当日は緊張で落ち着かず、朝礼からの9時までがこんなに長く感じたことはありませんでした。

申込後に参考書を購入し、毎日少しずつ勉強していくことにしました。仕事の時間を決めて勉強したり、通勤時間を利用して勉強したり、休日を使って勉強したりしました。また、社内の講習会や社外講習会にも積極的に参加し、出題予想された問題をひたすら繰り返し学習しました。筆記も実地もとにかく講習会で教えてもらった予想問題をやっていた気がします。

今までは資格取得を目標にしてきましたが、これからは早く一人前の現場代理人になるのを目標に、日々勉強し、スキルUPしていきたいと思っています。暖かく見守り、応援して下さった、部長・課長を始めとする工事部の諸先輩方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

EP部 泉田 康さん



特別な勉強方法など何もなく、どちらかと言うと昔から試験が苦手なので合格のポイントと言われても、恥ずかしながら何度も受験しており運良く合格したとしか

言いようがないのが正直なところですが、何度も受験した経験から試験範囲が広く漠然と勉強しても全く頭に入っていく気がしなかったため、技術本部から送っていただく受験対策や通信教育を重点的に勉強しました。あとは家族が静かに勉強できる時間を作ってくれたりとかかなり協力してくれたので、頑張って合格しないと思いつつも集中して勉強できたのかなと思います。

夏物作業服 改良します

昨年から導入した作業服ですが、今年の夏物からさらに改良版を導入することになりました。夏物の生地が厚く熱がこもるという問題を解消すると同時に、その他ご要望が多かった点についても変更を行いました。変更点は以下の通りです。

- ①夏物を以前の作業服と同等の薄い生地に変更
- ②夏物の脇部分にメッシュ生地を使用
- ③左胸のペン差しを、長めのペンが入るように改良
- ④左腕のポケットを、ペンが入るよう深めに変更
- ⑤ブルゾンの裾のゴムを少し緩くし、作業性を向上

なお、作業服の色や全体的なデザインは昨年と変更ありません。改良版の作業服は5月中には皆様に納品開始できる予定ですので、ぜひご活用ください。

(経理部 藤野 広実)

QC資格取得で差別化を図る

米軍工事はスペックで、「元請けはQuality資格者とSafety資格者を専任しなければならない」ことが条件として明記されている。米国陸軍工兵隊及び米国海軍建設技術局の考え方の中に、「Qualityは施工品質管理制度(CQM)で請負事業者は要求された施工品質基準を満たすと同時に、最終成果と契約の定める品質が合致していること」とされ、重要な資格である。

当社はQuality資格取得者の目標を20名とし、米軍の受講に参加する様指導している。現在、三沢、横田、沖縄で工事関係者の13人が資格を取得して、岩国関係者が取得すれば国内の主要米軍工事に資格者がいることになり、ゼネコンに施工品質のアピールができる。また、施工の品質確保はもちろんであるが、サブコンの当社はQualityとSafety資格者を配置した米軍工事管理体制は他社との差別化を図ることができ、施工ノウハウと専門的な施工対応を目標としている。(米軍工事支援センター 島 雅裕)

電設業の近未来は!?

「電設業の近未来展望」という、題材で電設技術より執筆の依頼がありました。あまり近未来についてじっくりと考えることがなかったので、自分を見つめ直すいい機会となりました。

自分が入社した10年前と比較すると、PCを利用したネットワークの拡大で、仕事をするスピードが増し、正確性もより求められるようになってきました。特に若手社員は、マニュアル化された作業のスピードを求められ、本来知らなければならない技術的基礎の重要性を十分理解しないまま、仕事をやる傾向にあると思われま。このスピード社会で、さらなる変化に柔軟に対応できる現場代理人を育成することが重要であり、電設業界全体の今後の発展に必要なことであると考えます。といった内容で執筆しました。是非皆様に、御一読頂ければと思います。(東京本店 高橋 智則)



36シリーズをありがとう

「36バインド」の生みの親であり、その後の36シリーズ開発でも多大なご協力をいただいた(福)太陽の家 事業部長 小野治良様のご退職されますので、36ユーザーのみなさんに一言ご挨拶をいただきました。(技術本部)



社会福祉法人太陽の家 事業部長 小野 治良さん

私が太陽の家に入社したのが昭和50年です。当時の日本はオイルショックの後で景気が少し回復基調に向かっている時期でしたが、輸入材を多く使った製品の製造を行っており、これらの構造不況業種の製品が次々と衰退していく時代でした。その後、太陽の家も大手の企業と提携し、現在の8社の共同出資会社が次々とでき、近代工業の生産を手がけるようになり順調に発展してきました。

平成14年、六興電気様より新規事業のお話があり、来所された長江社長とスタッフの方々と打合せを行い、最初に手掛けた製品が36バインドでした。当初は製品の用途と機能を考え製品図面を起こし、接着剤を用いパイプで天井に押し付け配線ケーブルを結束していくとお聞きし、金型メーカーと打ち合わせを行い第一号金型が完成。成形試作も一回で成功し早期に製品を作る準備が整い、生産開始することができました。

その後転勤で愛知県の蒲郡市にある愛知太陽の家に勤務するようになりました。愛知では榊デンソー様の協力での四輪のコンビネーションメーターや各種スイッチ、スマートキーの生産を福祉工場80名、授産場40名の規模で生産を続けています。愛知在勤中、京増取締役より新規の仕事の打診され、愛知は地理的に日本の中心になるので出荷拠点として授産で成形・組立て・出荷の仕事をお願いするようになり、地場の金型、成型メーカーと新規取引を始め、何とか生産できる体制を整えることができたのも懐かしい思い出です。

今年の3月末で定年を迎えましたが、六興電気様の受注

を頂き重度障がい者の仕事が確保できたこと、太陽の家として感謝の気持ちでいっぱいです。なお、今後も引き続きご指導、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。最後に御社の益々のご発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

“ろっこう”が選ぶ優秀安全標語

各支店の安全朝礼などで採用された安全標語の中から、新聞委員会で最優秀作品を選びました。

「見逃すな 危険箇所 すばやく報告 すぐ改善」

(大阪支店 林 学)



現場において日常的に作業していると、前日と環境が変わっていることに気付かないことがあり、そこに新たな危険が潜んでいる場合があると思います。前日までの固定観念を持たず、環境の変化に気付きそこに危険がないか感覚で察知できるような危険予知の意識向上に努める活動は各現場で行っていると思いますが、マンネリ化しないKYKが必要だと思います。さらにサッカーの元日本代表監督オシム氏が、CMLしている様に報告・改善のスピードが速いほど事故防止に繋がると思います。

おしらせ

経営事項審査結果

第69期の経営事項審査結果は、電気1,559点、通信1,029点でした。電気は完工高の減少により、昨年より8点下がっています。

レターヘッド

この度、新たにレターヘッドを作成致しました。英文契約書やクレームレター等、堅い文書の作成に利用できるよう落ち着いたデザインになっています。また、和文にも使用可能です。皆さん是非利用して下さい!

保養所きれいになりました

昨年6月より人事管理室にて保養所の清掃を行っています。ご利用の方が日頃からしっかり掃除をし丁寧に使用していただいておりますが、隅々までしっかり清掃し、備品等も新しくしました。地デジ工事も完了済です。清掃後はポータルサイトに写真もアップしております。保養所は大変格安で利用いただけますので、多くの社員の方にお使いいただきたいと思います。

受注!

- ・(仮称)JV花小金井計画 (東京本店)
- ・特別養護老人ホーム楽生園 (北海道支店)
- ・新潟空港エプロン照明灯改良その他 (新潟支店)
- ・神戸海岸通6丁目計画 (神戸支店)
- ・岩国飛行場(H22)整備格納庫新設 (中国支店)
- ・那覇偕生園新築 (沖縄営業所)

4月～6月のスケジュール

月	経営会議	行事等	特別休暇
4月	2日	1日:入社式	
5月	7日	7日:創業62周年記念式典 13日~14日:新任・主任研修 28日:本社清掃・献血ボランティア	
6月	4日	人事考課実施 支店安全大会	

はいさ~い\(^o^)/沖縄-11

はいさ~い。皆さんちゃーがんじゅーですか。

今回は、沖縄の方言について書きたいと思います。沖縄以外の日本でも、それぞれの方言があり、他の地域の人にとっては「?」なことが多々あると思いますが、ここ沖縄でももちろんあります。沖縄では沖縄の言葉を「うちな〜ぐち」といいます。文頭の「はいさ~い(=こんにちは)」、「ちゃーがんじゅ~(=元気)」もうちな〜ぐちです。私は沖縄に住んで3年半経過しますが、通常の生活をする上で、言葉が解らなくて不便ということは殆どありません。しかし、会話の中で「?」という言葉がたまに出てきます。移住当初、よく耳に残ったのが「で〜じ」とい言葉です。これは、標準語では「すごい(関西弁では「めっちゃ」)」の意味として使われます。頻繁に遭遇します。あと、言葉ではないのですが、話の節々に「ね〜」が付きます。これも遭遇率が高いです。「ちょっぴりうね〜」もここからきてるのだと思います。他に忙しくてばたばたすることを「ばたばた」と言ったり、行くこと(自分がどこどこに)を「来る」と言ったりします。

沖縄では、これらの方言も沖縄の特産物として売りに出しています。これらの方言を使った『うちな〜ぐちかるた』という商品が発売されているのです。もちろん私も所有しております。この商品は読み手のCDがついており、正しい沖縄言葉を聞くことができます。興味のある方は是非購入してください。お土産屋等で購入可能です。まだまだ、沖縄



うちな〜ぐちかるたと琉神マブヤー

の言葉についていろいろと書きたいのですが、残念ながら今回はこのくらいにさせていただきます。

最後にもう一つだけ。「め〜ご〜さ〜」という言葉があるのですが、これは本土での「げんこつ」のことです。沖縄のヒーロー『琉神マブヤー』の必殺技は『スーパーめ〜ご〜さ〜』です。因みにマブヤーの「マブイ」とは魂のことです。それでは次回まで「ちばりよ〜」

by関西系うちなんちゅ

飛行機 写真集出ます

毎年ダイナミックな航空写真でカレンダーを製作している長江社長ですが、このたびKodakフォトサロンムックから、写真集を刊行しました。リノエアレースで撮りためた写真をテーマごとに厳選し、Vol.1 レーシング・マスタング、Vol.2 空冷エンジンの咆哮、Vol.3 クラシック・ウォーパーズの3冊にまとめてあります。

ご覧になりたい方は、下記URLを参照してください。

<http://kht.shop-kagaht.jp/products/list13.html>



活躍する六興OB **長江 健さん**



都庁の現場でお世話になった長江健(タケシ)です。六興電気には1年ほど勤めましたが、長江会長、曾根さん、柴田君はじめ多くの方々に、いろいろと教えていただいたことを今でも感謝しています。

ブラジルに帰ってからは、銀行に勤めた後、弟と設計事務所を経営し現在は物流業のGeneral Stores社で、財務担当役員をしております。かつては年率1,800%をこえたインフレも2010年には5%まで落ち着き、ブラジル経済は活況を呈しています。2014年にはサッカーのワールドカップも予定されています。日本からは少し遠いですが、ぜひ大勢の六興マンに來伯して下さることを願っています。日本からのメールも歓迎です。

newtonnagae@gmail.com



リレートーク



F22と私

横田は出向している現場にもなりますが、昨年の8月に米空軍横田基地の「友好祭」に行ってきた。友好祭とは、年に1度基地の一部を開放し、日本との交流を行うイベントが催されるお祭りです。主に日米航空機の展示になりますが、戦闘機のパイロットとの会話や、写真を一緒に撮ることもできます。その他には、航空機内の見学もできます。イベントでは、屋内外のステージでライブを行っていたり、降下訓練ショー、花火大会等があります。模擬店も200以上あり、日本ではあまりないアメリカンな食べ物や飲み物、グッズ等が売られています。

良かったのは、世界最強と言われている最新鋭のステルス戦闘機F22ラプター(1機約130億円)を間近で見られたことです。残念なことに何年か前までは行われてたというエアショーは見ることができなかったのですが、今度は日本のブルーインパルスや米軍のサンダーバードのエアショーを間近で見たいと思っています。

米兵さんも優しく接してくれるので、航空機ファンでなくても、ご家族で行っても楽しめるイベントではないかと思えます。次回は、東北支店 小野 寧親さんです。

(北海道支店 横山 智郁)

本社清交会 ～京都～

毎年、清交会の企画を楽しみにしていますが、今回は京都旅行を選択しました。前日の天気予報で近畿地方はあいにくの雪模様。相当寒いのだと思いつつも雪の金閣寺を期待して行きました。

残念ながら(?)好天に恵まれ、雪景色の金閣寺を見ることはできませんでした。しかし今回、通常では私などが足を踏み入れることのできない、一見さんお断りのお店に行くことが



できました。そのおかみさんは74歳なのですが、とても美しく、うらやましいことに皺がありません。「美しさの秘訣は?」と聞いてみまし

たら、第一声が「ストレスを溜めないことが一番」でした。お茶屋のおかみさんですから中学を卒業したばかりの娘さんを預り、舞妓に育てあげているので気苦労が多いだろうなと思います(最近では本人自ら希望して舞妓さんになる人たちが殆どだそうです)。

「何か心配事があってもあまりよくよ考えないで、仕事を楽しくように心掛けている」ともおっしゃっていました。「できることに最善を尽くす」、「できないことは周囲の人の助けを借りながら問題を一つ一つクリアしていく事が大切だ」とのお話を聞いて「なるほど」と再認識するとともに「まだまだ頑張らない」と気持ちも新たに京都から帰ってきました。

今回も楽しい旅行ができ、清交会の幹事の方に感謝するとともに次回の企画も楽しみにしたいと思います。

(経理部 神田 信子)

訃報

山口 晴雄さん

元経理部長の山口晴雄さん(享年64才)が3月30日、胃癌により逝去されました。

分からないことや疑問に感じることをある時は優しく、ある時は厳しく懇切丁寧に指導していただき、事務方の皆を引っ張って下さいました。会社を退社されてからも趣味のウォーキングでもいつも先頭を歩き、皆を引っ張って下さいました。仕事も遊びも真剣で、分け隔てなく接して下さいました。お酒とたばこが好きで、入院してもたばこは止められないと言って嬉しそうに吸っていた姿が印象的でした。私共にとって尊敬できる方を失くしたことは、とても寂しくまた残念でなりません。

謹んでご冥福をお祈りいたします。合掌。

村上 秀喜さん

PT HAMAN ROKKOの村上秀喜さん(享年69歳)が3月12日、心不全のため急逝されました。

村上さんは当社を退職後、インドネシアのジャカルタに渡り「PT HAMAN ROKKO」という電気工事会社を設立されました。その会社は今では100名の従業員を率い、インドネシア各地での建設工事に携わられているとのこと。また、村上さんは日本のお神輿やお祭りをインドネシアに持ち込んで日本人と現地の人々との交流を図るなど、ボランティア活動などにも積極的に取り組まれていました。インドネシアの邦人社会を牽引する存在でもあったそうです。当社の歴史にも名を刻んだ村上さんを失くしたことは、残念でなりません。

謹んでご冥福をお祈りいたします。合掌

